

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」三条本成寺校		
○保護者評価実施期間	2024年11月12日		～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2024年11月12日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内は清潔で心地よく過ごせる環境になっている。	毎日朝礼後に清掃を行い、清潔を保っている。また、毎回支援終了後には机・いす・教材の消毒を行い、感染防止拡大を防いでいる。	日々の清掃・消毒のみならず、物の整理整頓や大掃除を定期的に行っていく。
2	活動プログラムの立案をチームで行っている。	支援記録入力のみならず、次回支援担当者に情報共有を行っている。	定期的にケースカンファレンスを行い、お子さんの現状に関して情報共有を行う。
3	お子さんの状況に応じ、個別支援のみならず定期的に集団イベントの開催を行っている。	余裕を持って準備を行い、多くのお子さんが参加できるようにお声掛けを行っている。	集団イベントの開催を今現在よりも多く開催し、たくさんのお子さんに参加していただく機会を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の設備等が障害の特性に応じ、バリアフリー化されていない。	未就学のお子さんもいることから、階段の昇り降りの際に手すりがなくて危険が伴う。	階段には手すりの設置を検討し、現在業者へ依頼中。
2	保護者との1対1での面談は行っているが、父母の会や保護者会といった保護者の方向士で交流する機会がない。	同じ悩みを抱えた保護者同士で話せる機会も大切だが、同じ悩みや話のニーズが合う保護者同士が揃わない可能性がある。	父母の会や保護者会の開催を前向きに検討する。また、開催となった際は余裕を持ってご案内し、多くの方に参加していただく機会を設ける。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」三条本成寺校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 8名

回収数 6部

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1	0	0		法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1	0	1		お子様1名に対して指導員1名を配置し、支援提供しております。 また、お子様の特性にあったプログラムを事業所全体で考査し、支援を提供しています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	0	0	0		視覚的な配慮・安全面の配慮を行い、必要時に合わせたスペースの確保を行っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	0	0	1		毎日清掃・消毒・換気を行い、環境美化・感染防止対策に努めております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0		発達段階に応じた課題を提示しております。 また、保護者の方にはフィードバック等で支援時の様子をお伝えするとともに、お子様に合った支援を提供できるよう事業所全体で情報共有を行っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0		今後も一人ひとりのペースに寄り添いながら丁寧な支援を進めさせていただきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0		個別支援計画に沿った形でスモールステップで取り組める内容を明確に提示しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0		ガイドラインにのっとり、お子様の支援に限らずご家族の方も含めた支援計画を作成してまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		個々のお子様へ個別支援計画を策定し、それに沿った支援を提供しております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	0	0	1		マンネリ化しないよう、お子様の興味関心あるものを取り入れ、楽しみながら取り組める支援内容を考え提供しております。
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4	0	0	2		状況に合わせて関係機関との情報共有を行い、包括的な支援を行います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0		ご理解いただけるよう、不明点はないか確認しながらご説明させていただいております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0		ご理解いただけるよう、不明点はないか確認しながらご説明させていただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	0	0	2		今後、同年代の保護者の方向士で交流できるような機会を設けていこうと考えております。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	6	0	0	0		支援終了後のフィードバックの際に支援時のご様子をお伝えするのみならず、ご家庭での様子もお聞きし共通理解ができるよう努めております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0		フィードバックを通して情報共有を行っております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0		保護者の方からのお話に傾聴するよう心掛けております。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	0	4		感染状況を考慮しながらご要望に応じて開催してまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	0	保護者の方にはわかりやすい説明を心がけております。相談時には迅速にかつ適切に対応できるよう体制を整えてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0	毎回の支援の際にはフィードバックの時間をもうけさせていただいております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	0	普段の活動やイベント内容、お知らせ等は公式LINEやSNSにて発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0	個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しております。また、パソコンなどの電子機器にはパスワードを設定しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	0	契約を行う際に策定したマニュアルのご説明をさせていただいております。また、月1回防災訓練を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	0	月に1回防災訓練を実施し、有事に備えております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0	他のお子さんとの接触事故等危険がないよう配慮しながら支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	2	事故等が発生した際には速やかにご報告させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0	お子様の気持ちに寄り添いながら支援を行うよう心掛けております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0	お子様が楽しく通えるよう、個別支援のみならずイベントも実施しております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0	皆様に満足いただけるような支援を行えるよう、心がけております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」三条本成寺校				公表日	2025年 2月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お子様の特性や様子、活動の内容等によってパーテーションを設置し支援に適切なスペースを設定しております。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		法令で必要とされる人数を配置しております。	今後も利用定員やお子様の状況に合わせて体制を整えていきます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		パーテーションで区切り、集中できる配慮をしております。	階段の昇り降りの安全性を考慮し、手すりの設置を予定しております。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		毎日清掃を行っております。また、支援後には机イスの消毒を行い感染拡大防止に努めております。	今後も清潔な環境を保てるよう、定期的な清掃を行っていきます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		パーテーションを活用し、臨機応変に空間を設定しております。	それぞれのお子さんに応じた支援スペースの確保に努めます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的な事業所ミーティングを行い、職員で話し合うようにしております。	今後も継続して業務改善につなげていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の方からいただいたご意見を事業所内で共有しております。	今後も継続して業務改善につなげていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な事業所ミーティングを行い、職員で話し合うようにしております。	今後も継続して業務改善につなげていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、必要に応じて設置を検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		発達支援研究所と連携し、定期的に研修を受講しております。また、入社直後には新入社員研修等も実施しております。	今後も継続して職員の資質向上につなげていきます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			支援プログラム公表に向け、現在体制を整えるとともに準備を進めております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		担当者会議にてお子様の課題や支援方法、保護者ニーズ等を関係者と共有し作成しております。	今後も保護者の皆様に満足いただけるよう準備を進めていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成会議を実施し、職員間での情報共有を行っております。	今後も保護者の皆様に満足いただけるよう準備を進めていきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成会議を実施し、職員間での情報共有を行っております。	今後も保護者の皆様に満足いただけるよう準備を進めていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートを活用し、お子様の現状把握に努めています。	今後も継続して保護者の皆様に満足いただけるよう丁寧に対応してまいります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		アセスメントやフィードバック実施時に保護者の方やお子様からのニーズをお聞きし、現状に合わせた支援内容の設定を行っております。	お子様一人ひとりの現状に合わせた個別支援計画書を作成し、より具体的な支援内容を設定してまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		計画作成会議を実施し、職員間での情報共有を行っております。	今後も職員間で細かな情報共有を行い、活動プログラムを立案してまいります。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様の現状に合わせたプログラムを計画し実施しております。	お子様の現状に合わせたプログラムを提供し、保認者の皆様に対して支援時のフィードバックを丁寧に行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		イベントを企画し、お子様同士の関わりややりとりを経験する機会を設けております。	今後もニーズに合わせて継続的に小集団イベントを計画・実施していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		事業所ミーティング時のみならず必要に応じて情報共有を行っております。	今後も支援の打ち合わせを丁寧に行いながら必要な支援を連携して行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		事業所ミーティング時のみならず必要に応じて情報共有を行っております。	今後も支援の打ち合わせを丁寧に行いながら必要な支援を連携して行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後には漏れがないよう支援記録の入力を行っております。	今後も継続して業務改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画作成前には保護者の方とモニタリングを行っております。	定期的に保護者の皆様とお子様の状況について情報共有を行い、個別支援計画書の適切な見直しを行っていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者または支援に携わっている指導員が参加しております。	今後もお子様の状況をよく理解している者が参画していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者の皆様のご要望に合わせて情報共有を行っております。	必要が生じた場合にすぐに対応ができるよう、体制を整えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園訪問を通して課題や関わり方等を共有しております。	必要に応じて各関係機関との情報共有を行っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		担当者会議にて共有しております。	必要に応じて各関係機関との情報共有を行っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		発達支援研究所の研修を定期的に受けております。	専門的な機関からご助言をいただき情報を正しくアップデートする中で、お子様や保護者の皆様への適切な支援を提供していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	個人情報保護の観点から行っておりません。	今後も個々のお子様のニーズに合わせて機会を設けていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回支援終了後にはフィードバックの時間を設けております。	今後も継続して保護者の皆様に満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援時には保護者の方にも実際に参加していただく活動を行っております。また、フィードバック時にお悩みが聞かれた際には助言を行っております。	今後もご家庭の様子を伺い、保護者の皆様の不安が経験するように対応していきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時には保護者の方に丁寧な説明を心がけております。	今後も継続して保護者の皆様に満足いただけるよう丁寧に対応していきます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画を作成する際にはモニタリングを行い、ご家庭や園等のご様子、当事業所のご様子を保護者の皆様と共有することでお子様の発達段階を把握し、共通理解を図っております。	今後も継続して保護者の皆様に満足いただけるよう丁寧に対応していきます。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		モニタリングで聞かれたお話をまとめたモニタリング報告書と個別支援計画を提示し、支援目標や実施する支援内容を確認しております。	今後も継続して保護者の皆様に満足いただけるよう丁寧に対応していきます。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎回のフィードバックのみならず、保護者からの希望に応じて面談を行っております。	今後も継続して保護者の皆様に満足いただけるよう丁寧に対応していきます。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		座談会等を定期的に開催できるよう準備してまいります。	今後、感染状況を考慮しながら保護者の方向同士で交流できるような座談会等の機会を設けてまいります。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			事業所に受付者・解決責任者を選任し、苦情受付体制を整えるとともに、個別でのご相談に対応しております。	いただいた苦情に関しては社内フローを定め、迅速かつ適切に対応していきます。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			SNSや公式LINEを活用し、情報発信を行っております。	今後も事業所内でのイベントや活動内容について、保護者の皆様や関係機関の皆様へ継続的に発信していきます。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しております。また、パソコンなどの電子機器にはパスワードを設定しております。	今後も細心の注意を払い、個人情報の取扱いに配慮していきます。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			視覚情報などを活用しながら、状況に合わせて意思疎通・情報伝達を行っております。	お子様・保護者の皆様が分かりやすいように配慮ある対応を行っていきます。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			今後より地域住民の方と関わることができる企画を考案していきたいと考えております。	教室によっては支援の様子を公開したり、教室解放の時間を設けたりしております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアルを策定し、月1回防災訓練を実施しております。	今後もマニュアルをもとに様々な場面を想定した防災訓練を行い、有事の際には全体で動けるよう努めてまいります。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			業務継続計画を策定し、定期的に必要な訓練を実施しております。	災害発生を想定した訓練を行い、有事の際には全体で動けるよう努めてまいります。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○				都度お子様の状態を確認させていただいております。	お子様の身体的情報については、必要時に保護者の皆様と情報を共有させていただき、服薬の情報についても変更がある際には確認をさせていただいております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○			食事の提供は行っておりません。	必要時はアレルギーの有無や健康状態の情報共有をさせていただきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				お子様の安全を第一に考えたうえであらゆる場面を想定し、安全計画を作成しております。必要な研修を受け、事業所内で訓練を実施しております。	様々な場面を想定し、お子様の安全を第一に考え支援を行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				保護者の皆様へ緊急連絡先の確認を行い、緊急連絡先名簿を作成し、有事に備えております。	災害時用の持ち出し避難リュックとともに緊急連絡先情報もすぐに持ち出しができるように設置・保管します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、再発防止に向けて職員間で情報共有を行っております。	お子様・保護者の皆様が安心して過ごせるよう、必要時にはヒヤリハットを作成し、再発防止に努めてまいります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				マニュアルを策定し、研修を実施しております。	お子様・保護者の皆様が安心して過ごせるよう、必要な研修に参加し適切な対応ができるように努めていきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				マニュアルを策定し、研修を実施しております。保護者の皆様には契約時に丁寧に説明し、個別支援計画書の特記事項にも記載しております。	保護者の皆様には契約時に丁寧に説明するとともに、個別支援計画書の特記事項にも漏れなく記載していきます。	